

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人 印旛沼環境基金	県所管課	環境生活部水質保全課
代表者	理事長 藤 和雄	電 話	043-223-3821
所在地	佐倉市宮小路町12番地		
電 話	043-485-0397		
設立年月日	昭和59年11月20日		
ホームページ アドレス	http://www.i-kouiki.jp/imbanuma/		
事業内容	印旛沼の水質浄化を推進し、もって印旛沼周辺の環境保全に資することを目的とし、主に次の事業を行う。 1)印旛沼及び流域における水環境及び動植物の生態系に関する調査研究 2)印旛沼及び流域河川の水質浄化、環境保全のための講習会、研究会、見学会、その他啓発活動の実施 3)印旛沼及び流域において自然環境に関する調査研究や環境保全に関わる各種活動を行っている団体等との協働及び支援		

1 出資等の状況(H29.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	564,526
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	275,000	48.7%	1	
船橋市	52,414	9.3%	2	
千葉市	40,280	7.1%	3	
佐倉市	38,050	6.7%	4	
印旛郡市広域市町村圏事務組合	36,000	6.4%	5	
八千代市	35,140	6.2%	6	
印西市	17,710	3.1%	7	
八街市	16,340	2.9%	8	
四街道市	13,600	2.4%	9	
白井市他13者	39,992	7.1%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H29.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総資産	584,550	585,982	585,166
負債	381	374	1,252
(うち有利子負債)			
純資産	584,169	585,608	583,914
累積損益(利益剰余金)	16,645	18,075	16,372

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	7,824	9,933	9,776
経常損益	▲1,483	1,731	▲1,263
当期損益	▲1,483	1,731	▲1,263
減価償却前当期損益	▲1,483	1,731	▲1,263

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	26年度	27年度	28年度
借入金残高			
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料				
補助金・交付金・負担金				
合 計		0	0	0

(2) その他

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合 計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	26年度	27年度	28年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	27年度	28年度	29年度
常勤役員数	0	0	0
うち県退職者			
うち県派遣職員			
常勤職員数	0	0	0
うち県退職者			
うち県派遣職員			

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	27年度	28年度	29年度
役員数(県派遣又は県OB)	人(人)	人(人)	人(人)
役員平均年齢			
平均年収(千円)			
職員数(県派遣又は県OB)	人(人)	人(人)	人(人)
職員平均年齢			
平均年収(千円)			

① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

② 役職員数は実人員を記入してください。

③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人

・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成29年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	県と連携した経営改善
改革方針(概要)	印旛沼の水質浄化をより効果的に推進するため、基金のあり方について検討を行い、併せて、周辺地域の環境保全の啓発強化を図るため、他の事業主体の類似事業との整理・統合なども視野に事業の見直しを進めていく。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・印旛沼流域水循環健全化会議 学びワーキングにおけるモデル校支援制度は平成29年度で終了し、今後は、印旛沼環境基金助成事業による環境学習支援に一本化を図ることとした。 ・印旛沼水質保全協議会の水環境の保全に関するポスターコンクールと印旛沼環境基金の水辺の風景画コンクールについては、ほぼ同時期に、同じ流域内の小中学生を対象に実施するなど、かなりの重複が見られるため、応募数の少ない協議会のコンクールは終了する方向で検討を進めている。
その他(特記事項等)	

* 平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。